

「ふふ、リオンお嬢様♡
私の手、あつたかいでしょう？
ほら、お腹の底からじわじわと頭が痺れていくわよ♡」

なで♡
なで♡

っ

「なにを……
頭が……ぼーっとして……」



「いい表情♡
もう何も考えられないくらい
おまんこがズキズキ痛い♡
それじゃあ挿れるわね♡」
ちやいてるわね♡

なで♡
なで♡

「あ、ん……
はあ、はあ……おちんぽ……
早く、ほしい♡」

♡



「んっ……ふっ、お嬢様の狭いところに
私の極上のおちんちんがぴったり嵌まったわ♡」

ま♡

ま♡

「おほおッ!?
あ、あ、いきなり、奥までえ♡
なにこれ、頭が、弾けちゃう♡」

バチュン

バチュン

ニ

バチュン

バチュン

「まだ始まったばかりよ♡
ほらぐっして中でゴリゴリ動かされるだけで
お汁が溢れて止まらないじゃない♡」

「あぐっ♡あ、お腹のなか
めちやくちやにされてるっ♡
はあ、はあ、気持ちよすぎて、
おかしくなるう♡」

バチュン

バチュン

ニ

「そうよ、このおちんぽの快楽には絶対には逆らえないの♡
ぜんぶ忘れて、私の可愛い可愛い奴隷になりなさい♡」

「奴隷…私は、奴隷……はあん♡
つき上げるたびに、頭がとろとろに
溶かされちゃう♡」

ハチュンッ

ハチュンッ

ハ

ハチュンッ

ハチュンッ

「そう、私の言うことだけがぜんぶ正しいの♡
ずっとこのおちんちんで気持ちよくしてほしーでしょー?」

「はいっ♡♡
私、おちんちんの奴隷になりますう♡
もっ♡もっ♡と奥をぐりぐりしてえ♡」

ハチュン

ハチュン

ハ

ハチュン

ハチュン

「いいお返事♡
従順な奴隷のおまんこに、サキュバスの
極上のザーメンをたっぷり注いであげるわね♡」

セックス

セックス

おまんこ♡

おまんこ♡

「あ、くる、また凄いのがきちゃう♡
おちんちんが、大きくなつて、お腹が、はち切れちゃう♡」

ハチュン

ハチュン

ハチュン

ニ

「ほら、子宮の奥まで届くように
たくさん出してあげるわぁん♡」

ま♡

セク

セク

「おひよおおお!!
ぶぶっといのが、お腹のなかに直撃してるぅぅ♡
おちんぽ、しゅきいい♡」

エケル



「まだ止めてあげない♡
もつと奥の子宮の入り口に
刻印が完全に浮かび上がるまで孕ませてあげる♡」

「あゝぐゅ、中出し、とまらない♡
お腹に気持ちいのがドロドロに焼き付いてるのぉ♡」

エロ
ル
ー
ン

「これで完璧♡
魂まで私のものね、リオン♡」

♡♡♡♡

♡♡♡♡

はぁ♡♡

はぁ♡♡

「はぁ、はぁ、はぁ♡
リオンはリス様のおちんぽの奴隷です♡
ずっと、お腹の中にザーメンを注ぎ続けてください♡」

キゅん♡
キゅん♡





















